

海岸よろず相談所だより

令和6年3月1日
第84号
 国土交通省
 宮崎河川国道事務所
 宮崎海岸出張所発行



サンドバック再施工設置(R6年)

- 記事
- ◇第22回宮崎海岸侵食対策検討委員会
 - ◇第14回技術分科会
 - ◇第50回市民談義所開催！
 - ◇地域行事に参加しました（広瀬西文化祭り）



第22回宮崎海岸侵食対策検討委員会

2月1日に宮崎河川国道事務所にて、第22回宮崎海岸侵食対策検討委員会を開催しました。この委員会では、宮崎海岸ステップアップサイクルによる確認を踏まえ、一番の課題としている流出土砂を減らす対策内容の修正・改善の可能性など今後の宮崎海岸事業の進め方について、意見交換を行いました。その結果、「①対策の検討に用いる等深線変化モデルの検討」と「②南への流出土砂を減らす対策の検討」の2事項を技術分科会へ付託することとなりました。

宮崎海岸の
現状の説明

宮崎海岸侵食対策検討委員会

どうすれば砂浜は
形成されるかな～



第14回技術分科会

2月13日に宮崎河川国道事務所にて第14回技術分科会を開催しました。この分科会では、宮崎海岸侵食対策検討委員会へ付託されたことを中心に、侵食対策検討の方向性及び対策検討に用いる砂浜の予測計算モデルの改良について議論を行いました。対策工法は、小突堤を中心に検討することで合意し、構造や施設配置については、段階的な検討を実施する必要があることを確認しました。



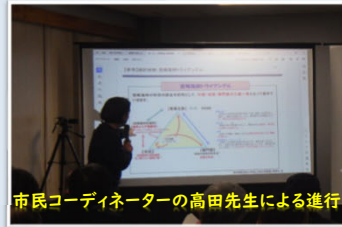
第14回技術分科会の様子

第50回市民談義所開催！

2月17日に佐土原体育館会議室にて、第50回市民談義所を開催しました。宮崎海岸侵食対策検討委員会（2月1日開催）、技術分科会（2月13日開催）にて議論された内容の報告及び侵食対策内容への意見について議論を行いました。約1年ぶりの開催となりましたが、20名程度の市民の方々に参加いただき、活発な談義になりました。宮崎海岸トライアングルで議論して決めてきた宮崎海岸保全の基本方針を守って事業を進めていくことの重要性が改めて確認できました。今後は、市民の方々とのコミュニケーションを密にしていくためにも、市民談義所やそのほかの方法を考え、機会の提供につなげていこうと思います。



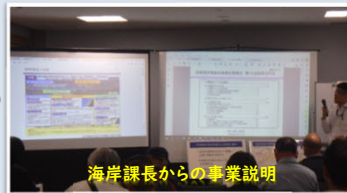
約20名の市民と行政機関合わせて
総勢40名程度での談義



市民コーディネーターの高田先生による進行



行政・市民・専門家
一体となって考えよう！



海岸課長からの事業説明



現在の宮崎海岸の様子を映像で確認

昔の美しい砂浜を再構築していくには、やはり市民の方々の意見が不可欠となります。今後も、市民談義所を開催していきますので、奮ってご参加の程、よろしくお願ひします。皆さんでトライアングル一体となって美しい宮崎海岸を取り戻していきましょう！

地域行事に参加しました（広瀬西文化祭り）

1月27日、28日に宮崎市佐土原総合文化センターにて「第15回広瀬西小校区芸能文化まつり」が開催されました。この文化まつりは、防災部門や体験部門、ステージ部門等の多彩な内容が組み込まれており、多くの地域住民の方々が色々な視点で楽しむことができる文化まつりでした。宮崎海岸出張所も展示部門に参加し、宮崎海岸侵食対策事業や宮崎海岸で採れる貝殻や生き物を展示パネルや写真等で紹介しました。



昔の宮崎海岸

お魚さん
み〜っけ！



実寸大のオオニビでパジャリ



貝殻標本

海岸に関するご相談やご意見・ご質問などありましたら

ご希望がありましたら、学校・公民館等で説明します。

○海岸よろず相談所○

【国土交通省 宮崎河川国道事務所 宮崎海岸出張所】

にご連絡下さい。

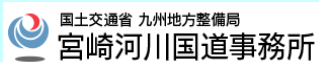


TEL:0985-69-3692/FAX:0985-62-7051

〒880-0211 宮崎市佐土原町 下田島 9515-6 (旧 宮崎地方法務局 佐土原出張所)

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/sskondan/index.html>

※海岸情報（宮崎海岸Publication）



<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>



www.facebook.com/miyazaki.mlit.go.jp

